添付資料
（毎日新聞、平成１２年１２月７日夕刊）
英ロスリン研究所の記事

12/7（夕刊）　毎日新聞

「薬」の卵産むニワトリ
クローン技術応用

「ドリー」作った英研究所が計画

ロイター通信によると、クローン羊「ドリー」を作った英ロスリン研究所は6日、クローン技術を応用してニワトリの遺伝子を操作し、その卵の中に、がん治療などの薬として使えるたんぱく質を含ませる計画を発表した。米国のバイオ技術会社「ビロテック」と共同で実施するという。

同研究所のヘレン・サング博士によると、計画が成功すれば、わずかな費用で多くの薬ができるという。同研究所はこれまでに、羊などのたんぱく質を乳の中に生産させる技術を開発してきたが、ニワトリの方が大量生産に適しており、薬の製造コストは従来の方法より下がることが期待される。米国では、別の会社も同様の計画を推進しているという。